

第67次 技術教育・家庭科教育全国研究大会

主催：産業教育研究連盟 後援：大東文化大学

大会テーマ 「巧みな手、科学する頭、くらしと社会を支える力を育む技術教育・家庭科教育」



会場 **大東文化会館**

〒175-0083 東京都板橋区徳丸2-4-21 (東武東上線東武練馬駅下車徒歩5分)

日程・時程 **2018年8月4日(土)～8月5日(日)**

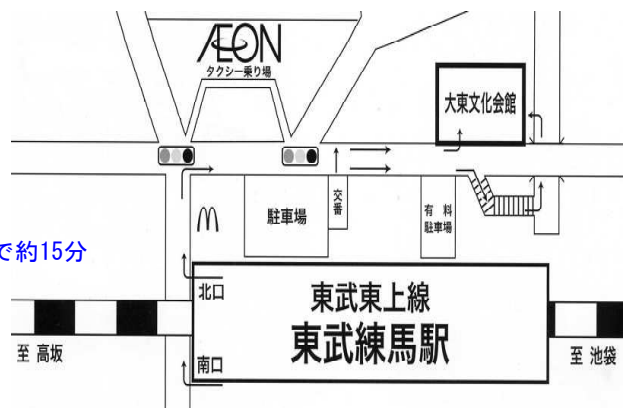
| 日 時 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|--------|------|------------------------|----|----|----|---------------------|----|---------|----|-----|------|
| 8/4(土) | (受付) | はじめの全体会 (基調提案・全体討議) | 昼食 | | | 授業実践研究 I A 材料の加工 | | | | 交流会 | 連盟総会 |
| | | 教材・教具、書籍・出版物等の展示 | | | | | | | | | |
| 8/5(日) | (受付) | 授業実践研究 II C 栽培・食物 | | 昼食 | | 課題解決検討会 | | おわりの全体会 | | | |
| | | 授業実践研究 II D エネルギー変換 | | | | | | | | | |

* 準備のため、8/3(金)15:00から大会実行委員会があります。

産業教育研究連盟(略称 産教連)は、技術教育・家庭科教育に関わりのある小・中・高・大学の教員や学生などで運営している民間教育研究団体です。

ホームページ(<http://www.sankyoren.com>)で日常の活動を公開しています。

池袋駅から東武練馬駅まで東武東上線各駅停車利用で約15分
(急行等は停車しませんので、ご注意ください)



小中学校では、1年間の周知徹底期間を経て、本年4月より新学習指導要領の移行期間に入りました。中教審答申によれば、今回の学習指導要領の改訂では、学びの質と量が重視され、その学びの質に着目して授業改善の取り組みを活性化しようとするのが今回の改訂のめざすところのことです。

一方、社会状況の変化に伴って、子どもの生活力の低下が顕著になっているとの指摘がなされ、学校教育の中で基礎的事項を身につけさせることが以前にも増して重要となってきています。

ところが、技術教育・家庭科教育の授業改善に取り組むにはあまりにも大変な状況が明らかになっています。教材研究に取り組む時間も満足に取れないほど過酷な教員の労働実態、専任教員不在で免許外教科担任や非常勤講師に頼らざるを得ない学校がかなりの数で存在する現実などです。

大会に参加し、こうした問題の解決策をいっしょに考えようではありませんか。また、大変な状況下でも工夫して授業実践を進めている先生も大勢います。どのような実践かを実際に自分の目で確かめませんか。

はじめの全体会・全体討議 4日(土)10:00~12:00

【基調提案・全体討議】 は、基調提案の中で問題提起された点を中心に、「今大会で研究・討議を深めたい事項」も踏まえながら意見交換し、その後の大会討議の焦点化につなげます。討議時間は基調提案を含めて約1時間30分とし、ラウンドテーブル方式で行う予定です。

課題解決検討会 5日(日)13:00~15:20

はじめの全体会の全体討議あるいは分科会(授業実践研究ⅠおよびⅡ)で出された技術教育・家庭科教育をめぐる諸々の課題について、総括的に参加者全員で討議するとともに、大会中に取り上げられなかったレポートも合わせて討議します。

【交流会】 4日(土)17:15~18:15

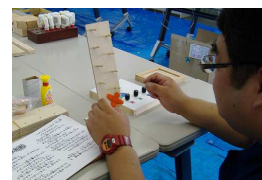
全国各地から集まった参加者が一堂に会し、お互いの近況を紹介し合います。若い方も豊富な経験を積んできた方も、遠慮なく気軽に語り合えます。参加者それぞれの話の中から、明日の授業へ取り組むヒントが得られることでしょう。

持参した教材・教具があれば、この場で参加者に披露することもできます。



【連盟総会】 4日(土)18:15~18:40

連盟規約第6条に基づく産教連会員のための年度総会です。



<教材・教具、書籍・出版物等の展示> 4日(土)10:00~18:15および5日(日)9:00~15:20

参加者が持ち寄った教材や教具が展示されます。あわせて、産教連会員の著書や産教連通信のバックナンバーも展示されます。また、全国各地で取り組まれているサークル活動の成果をまとめたものも展示されます。これらの展示物を購入したり、持ち帰ったりも可能です。

なお、この場所にはだれでも出展できます。出展を希望される場合は、大会実行委員会までお知らせくださると大変ありがたいです。



今大会で研究・討議を深めたい事項

1. 授業で取り上げる教材内容やその授業方法について、新学習指導要領の中味と絡めながら検討する。
2. 技術教育・家庭科教育にかかわる点で、今、学校現場が抱えている問題について、解決へ向けての手がかりを探る。

授業実践研究Ⅰ 4日(土)13:00~17:00

前半(2時間30分程度)は、授業で扱う教材を参加者みんなで試作したうえで、それに関連する事項も含めて討議します。後半(1時間30分程度)は、メインレポートの発表を中心に、関連レポートの発表も含め、教材の適否や指導法のコツなど、実習も交えながら、多角度から意見交換を進めます。なお、製作に加わった参加者には材料費として実費をいただきます。

A:材料の加工

実習「雛形製作で知る和服の成り立ち」

昨今、海外からの旅行者が急増し、何かと話題になっている和服。新学習指導要領には、和服について触れるよう記述がありますが、和服の構成についてきちんと理解している人は少ないのではないのでしょうか。

そこで、ソーイングペーパーを使い、裁断と縫製により実物の1/4大の雛形を作り、和服の構成を確かめるワークショップを行います。それにより、洋服が曲線で裁たれたパーツの組み合わせから成り立っているのに対し、和服が直線裁ちのパーツからなる平面構成になっていることを実感できることと思います。



メインレポート「はじめて作る作品の完成度と自由度」

中学校ではじめて本格的に取り組む製作。全員が完成させ、持ち帰れる作品をめざし、ある程度の枠の中で生徒が選択して作品作りを進めていくようにしています。材料である木材について学習し、さまざまな手工具や機械を使いながら、そのすばらしさを実感することをねらっています。参加者に対し、小物入れにペット樹脂の扉をどの方向に取りつけるかを工夫し、作業してもらうことを通じて、生活の中で“板”がどのような使われ方をしているのに関心が向くか、議論していきたい。

B:情報の技術

—PICマイコンを使ったセンサライトの製作とプログラミング—

教育現場では、一般的に、プログラミングが中心で、センサやアクチュエータ等の機器のしくみについての学習は簡単に済ませてしまう場合が多い。そこで、ここでは、電子部品を使った製作に取り組むことから始めるプログラミング学習を構想し、マイコンを利用した装置の製作とプログラミングの両方を参加者に実習してもらいます。

実習後、制御を学ぶうえでそれが有効かどうか、議論していきたい。

授業実践研究Ⅱ 5日(日)9:00~12:00

模擬授業や実験・実演も交え、メインレポートの発表を中心に、関連するレポートの発表も含め、教材教具の効果的な使い方や指導法の工夫など、多角度から意見交換します。

C:栽培・食物

メインレポート1「生徒の発想で新たな栽培に挑戦」

これまで、生徒の希望やつぶやきなどから、新しい作物の栽培にも挑戦してきました。サトウキビやパイナップルなどです。これらの作物がどう育つのか? また、収穫後、どのように加工されるのか? 調べながら手探りで進める栽培学習のおもしろさを報告します。日々、試行錯誤の連続ですが、そこから得られる新鮮な学びについて討議したい。

メインレポート2「楽しく進める食物学習」

どうしても講義形式になりがちな栄養素の学習。「先生、栄養素なんてつまんない! 早く調理実習をやろうよ!」調理実習は楽しく取り組めるけれども、それ以外のことに対する生徒たちの関心は少ないものです。「食物学習」は作って食べるだけではなく、考えさせたいものを楽しめる実演を交えながら報告(食品カードを使った献立づくり、食品実験、クイズで進める基礎学習など)し、討議したい。

D:エネルギー変換

メインレポート「発電・送電・消費・安全が見える授業」

「生活や社会を支えるエネルギー」に目を向け、技術を評価し選択判断していくための基礎学力をつけることはとても大切なことだと思います。生活や社会を支える電気エネルギーはどのように作られ、届けられるのか。交流電源を中心に、目に見えない電気について、実感を持って学べる実験や教材の工夫と配列を討議したい。

参加者およびレポート発表(提案)・教材教具の展示などをされる方へのお願い

1. 誰でも自由に発表し、討議に参加できます。実践報告、教材教具やテスト問題の紹介等、多様な提案や資料の提供をお願いします。資料は50部準備し、事前の送付にご協力ください。
2. レポートや教材教具等の荷物の送付は、**8月3日(金)午後2時～4時の配達時間帯指定で、大東文化会館気付「産教連大会実行委員会」宛**をお願いします。
3. レポート発表等を希望される方は、下記大会実行委員会に発表希望分科会およびテーマを**7月31日(火)**までにお知らせください。
4. キャンセルまたは変更の場合には、必ず事務局(大会会計)の野本まで連絡ください。
5. キャンセル時の参加費の返金は、資料の発送をもって代えさせていただきます。
6. 申し込みをされた方の氏名・住所等の個人情報(産教連)の活動以外には一切使用しません。

問い合わせ先 大会実行委員会 亀山俊平 〒195-0061 東京都町田市鶴川4-28-5
TEL 042(734)5052 kame@mbj.ocn.ne.jp

申込方法

参加費 全日程参加 3000円(会員 2000円, 学生 1000円)
一日のみ参加 2000円(会員の有無に関係なく)
宿泊が必要な方は各々手配をお願いします(池袋駅周辺・東武東上線沿線が便利です)。
昼食については、会場周辺に飲食店・店舗があります。

申込 産教連 Web ページ <http://www.sankyoren.com> から申し込みのうえで、参加費を下記口座にお振り込みください。あるいは、下記の参加申込書を事務局へ郵送のうえ、お振り込みください。

振込先 三菱 UFJ 銀行港北^{こうほく}ニュータウン支店 普通0605258 「産教連^{さんきょうれん} 全国研究大会」
申込期日 **7月31日(火)**まで(大会当日も受け付けます)
事務局 野本勇 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-37-21
TEL 045(942)0930

第67次 技術教育・家庭科教育全国研究大会 参加申込書

氏名 _____

住所(都道府県名から記入) 〒 _____

連絡先の電話 () _____ e-mail: _____

所属(勤務先) _____

◆あてはまる項目に○印をつけてください。

参加日: 8/4(土) 8/5(日) 参加費: 一般 会員 学生 (_____ 円)

性別: 男 女

◆参加予定の分科会、レポートの有無に○印をつけてください。(当日の変更も可)

授業実践研究Ⅰ: A B 授業実践研究Ⅱ: C D 課題解決検討会: レポート 有 無
レポート 有 無 レポート 有 無